

教育広報紙「こらぼ」19号を発行します
－「好奇心」は新しいことにチャレンジするエネルギー！－

教育委員会の取組のキーワードである「やる気につながる好奇心の醸成」をテーマに、子どもの好奇心を刺激する学校園での取組の紹介や社会教育施設の取組など、情報満載でお届けします。

1 発行日

令和6年10月10日(木)発行

学校園を通して各家庭に配付します。

教育企画総務課HPにも掲載します。

2 内容について

【第19号】

- ・教育委員会では、「やる気につながる好奇心の醸成」をテーマに、学校園等と協力して子どもたちの「なぜ?」「やってみたい」と思う気持ちを大切に育む取組を進めています。
- ・学校園や社会教育施設で子どもたちの「好奇心」を刺激し、子どもたちのやる気を引き出す具体的な取組を紹介しています。特に今年度は、学校園の ICT を活用した授業づくりや学校行事を通した仲間づくりについて取り上げています。

・タブロイド版(縦 406mm×横 272mm)、カラー4ページ、9万5000部印刷

3 その他

・今回の「こらぼ」19号の内容や今後取り上げて欲しいテーマ等について、以下、二次元バーコードまたはメールにて、ご意見・ご感想をお聞かせください。

○ 【アンケート用】二次元バーコード

○ 【メール用】二次元バーコード



【問い合わせ先】

岡山市 教育企画総務課 吉田

直通086-803-1571 内線3812・3813

「ころぼ」とは、コラボレーションの略です。家庭、学校、地域社会、事業者、市の協働による教育の相乗効果を期待するという願いが込められています。

発行/岡山市教育委員会事務局教育総務部教育企画総務課 〒700-8544 岡山市北区大供一丁目1-1 Tel 086-803-1571 Fax 086-234-4141 E-mail kyoukukikakusoumu@city.okayama.jp
この広報紙は、岡山市公立保育園、岡山市立認定こども園、幼稚園、小・中・義務教育学校、高等学校の保護者等にお配りするほか、各区役所、支所、地域センター、公民館、図書館等の市の関係施設に置いてあります。また、HPでもご覧いただけます。 岡山市教育委員会

好奇心は、新しいことにチャレンジするエネルギー!

～膨らんでいます「やる気につながる好奇心」～

授業づくり ICT活用 仲間づくり

子どもたちの「好奇心」がどんどん膨らんでいるさまさまざまな取組を紹介するよ!

岡山県教育委員会広報専門員 ころぼん

「やる気につながる好奇心」とは
子どもが本来もっている、ものごとに対する素朴な疑問や興味・関心などのことで子どもが**学習に向かう原動力**になるものです。

表現力 向上心 学ぶ意欲 活用能力

自分のこととして考える 人や自然、文化などとの関わり

なぜだろう? やってみたい! おもしろそう!

好奇心

岡山県教育委員会事務局教育総務部教育企画総務課 〒700-8544 岡山市北区大供一丁目1-1 Tel 086-803-1571 Fax 086-234-4141 E-mail kyoukukikakusoumu@city.okayama.jp

YouTube **教育長がきょうもい!**
岡山市教育委員会が進める施策について、広報専門員「ころぼん」が三宅教育長と一緒に現場に出て、保護者や市民の皆さまに分かりやすく伝えています。

Vol.10 「しゃべりびっく(生徒会の集い)編」

岡山県教育委員会 教育長 三宅泰司

デジタルシステムの活用

中学校・高等学校に「デジタル採点システム」を導入

令和6年度から、市立の全中・高等学校に「デジタル採点システム」を導入。定期テストや単元テスト等で、順次利用を開始しています。この採点システムでは、採点した結果を自動計算し正確な点数をつけることができます。画面でクラス全員の同じ問題を一覧表示できるので、個々はもちろん、クラス全体の理解度がわかります。また、分析されたデータは、その後の指導に活かすことができ、生徒たちの学力向上へつなげることを目的としています。

導入後の意見・感想なども踏まえながら、今後の活用方法を、現場の先生方と検討していきたいと思っています。

学校指導課 西山 育佳さん

採点画面 分析画面 個人成績表

クラス全員分の同じ問題の解答を一覧にして採点します。 問題に対してのクラス・学年全体の正解率がわかります。 個人解答と合わせて、全体の正解率がわかります。

教育機関の連携を促進 検索システム「みどころキューブ」

このツールを使った学習をきっかけに考古学者や陶芸家になりたいなど、子どもたちが興味をもってくれると嬉しいです。

オリент美術館 川原 理智さん

オリент美術館の収蔵品のうち、特徴的なもの、約50点を検索できるシステム「みどころキューブ」の運用を開始しました。このシステムは、端末からアクセスし、物や模様、形といった視覚的な興味からタッチ操作で検索し、文様の拡大画像を観たり、作品の詳しい解説を閲覧することが可能で、低学年の児童にも使いやすいと好評です。収蔵品の歴史的な解説とともに文様・形・色・美しさなどに触れることで、収蔵品の見方や感じ方、考え方を深め、あわせて他の収蔵品への興味をもつようになり、「美術館で実物をみたい」という欲や行動につなげていくことを目的としています。岡山市では今後、小学生の図画工作の授業で、模様や形などを取り入れた作品づくりに活用していく予定です。

▲タッチ操作でコントロールが可能です。

オリент美術館「みどころキューブ」 オリент美術館の「あいうえお」

ころぼ Vol.18に寄せられたご意見・ご感想

前回のテーマ すべての始まりは「好奇心」

岡山市の教育大綱を知って、小学校の学年のめあてと繋がっているんだな〜と思いました。好奇心ややる気を育てたいと思って、家庭でどうすれば良いのかはなかなか分からず…。これから地域活動もどんどん復活していく中で、参加する機会が増えていくと良いなと思います。今は体験型や思考型、討論型の学習が増えていくと聞いていますが、低学年の子どもの説明する力も弱く、また、親の私が経験してきていないので実際のところがよく分からず、まだ実感できていません。学校によって差はあるのでしょうか、タブレット端末をどのように授業に取り入れているのか、英語教育の今はどうなっているのかなどを知りたいと思います。

岡山市立御南西公民館の近所に20年以上暮らす2人の子育てをしています。下の娘は小学生で、今年も「夏休み公民館へおいでよ」の講座に朝早くから並び、料理、平和、アート、スポーツ等、色々申し込みました。私も体験する事が大好きで、子供たちにも、とりあえず体験をさせてきました。下の娘は特に食わず嫌いで、「やってみたら楽しかった」という事が多々あるので、これからは、未来の可能性に向けて、体験させてあげたいと思っています。今後体験できる特集があれば嬉しいです。

学校で大切にしていることを親も学べて良いです。親から見ると、どうしても表面的な成績や、子どもから聞いた話のみしか分からないので、「ころぼ」で、例えば「好奇心」について学ぶなど、学校では何を大切にしているか、成績や何をしたらいいかではなく、子どもたちに生きていく上で大切な人格や倫理観も育ててほしいと思っています。これからも「ころぼ」を読みつつ、子どもの学校での話を聞きたいです。

千石古墳の記事に、目が止まりました。工事以前に、何度か、水が溜まった中を見に行ったことがありました。しばらく工事中でした。時折、親戚の家などに行く途中、そばを通りながら、どうなるのかなあ、いつ頃、見学できるようになるのかなあと、思っていました。写真や資料展示のことを、コラボで拝見し、大変嬉しくなりました。ぜひ、家族で訪れてみようと思います。

ご意見・ご感想をお聞かせください。
今回の「ころぼ Vol.19」で興味をもって読んでいただいた記事やその理由などを、今後取り上げて欲しいテーマと共に、お寄せください。
抽選で図書カード1,000円分を5名の方にプレゼントします。
メールまたは回答フォームいずれかで応募ください。

応募締切 令和6年 11月30日(土)

※お寄せいただいた個人情報は、業務目的以外には使用しません。※当選者の発表は、賞品の発送をもってさせていただきます。

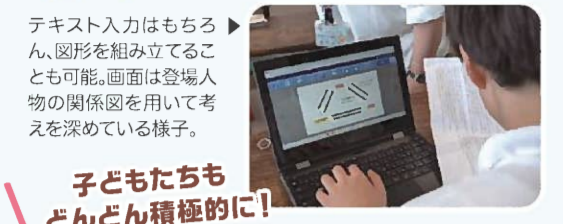
メールでご応募はこちら 回答フォームから応募はこちら

たくさんのご応募を、お待ちしております!

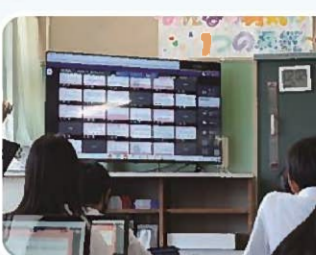
ICT活用

妹尾小学校

図を組み立てることもできるよ!



子どもたちもどんどん積極的に!



▲回答が大型モニターで、全員の考えが共有されている様子。手元の端末にも表示されます。

児童の声

いろいろな意見を見ることができ、友達の良いところを参考にでき、たくさん発見がありました。また、友達のやりとりも増えたので、楽しく学べようになりました。

妹尾小学校 6年生 倉ヶ崎 樹生さん

児童の声

たくさん意見を知ることができます。自分の意見と比べて、どこが同じ、違うところを見つけることができ、ノートに提出した後に見返さなければ、期末だと先生も自分も見られて、いつでも授業を思い出せるから、私は期末を使った授業が好きです。

妹尾小学校 6年生 中山 花穂さん



令和6年4月に岡山市立小・中学校に共通の「授業支援ソフト」が導入された妹尾小学校では、6年生、国語の「風切のつばさ」を題材に、ソフトを活用した公開授業が実施されました。子どもたちは、物語の登場人物の心情や山場を理解するために、①登場人物になりきった日記の作成、②演技、③登場人物の関係図からの考察の3つの方法から自分で選んで取り組み、考えを深め、ソフトの考えを可視化して相互評価をする機能を使って発表しました。ソフトの機能を活

用すると、個人の考えを教室の大型モニターやそれぞれの端末で表示されるのももちろん、クラス全員の考えも一瞥で共有できるので、短い時間で友達の考えを知り、自分の考えと比べたり自分の考えに取り入れられたりすることで考えを深めることができます。また、先生は子どもたちの学習状況を端末を通して把握しやすくなるので、個々の進捗を確認しながら、適切にフォローすることができ、授業では、課題解決に向けて子どもたちが主体的に考え、意見交換している姿が見られました。

先生の声

ICTを活用すると、事前にみんなの考えや学習状況を確認できるので、「あ、この子に」と目標をつけやすかったり、「行き詰っているのかな?」と声かけがしやすくなったりと感じています。また子どもたちは、友達の考えと比べることができ、自分の考えを広げ、様々な意見が出せるようになりました。

妹尾小学校 教諭 竹井 美咲さん

子どもたちが主体的に学習に取り組むためのツールとして「授業支援ソフト」の活用

用すると、個人の考えを教室の大型モニターやそれぞれの端末で表示されるのももちろん、クラス全員の考えも一瞥で共有できるので、短い時間で友達の考えを知り、自分の考えと比べたり自分の考えに取り入れられたりすることで考えを深めることができます。また、先生は子どもたちの学習状況を端末を通して把握しやすくなるので、個々の進捗を確認しながら、適切にフォローすることができ、授業では、課題解決に向けて子どもたちが主体的に考え、意見交換している姿が見られました。

授業づくり

公開授業後の先生による研究協議会
より良い授業を目指して

参加された先生の声

一人一人の意見が一度に集まり、共有できるのが素晴らしいと思いました。学び方に、決まりやルールはない、同じ方法をやってみようかというところもあって、先生が方法を提案するだけではなく、子どもたちが自分で選んで共有できるのは、とてもいいなと思います。

真喜小学校 教諭 栢野 健一さん



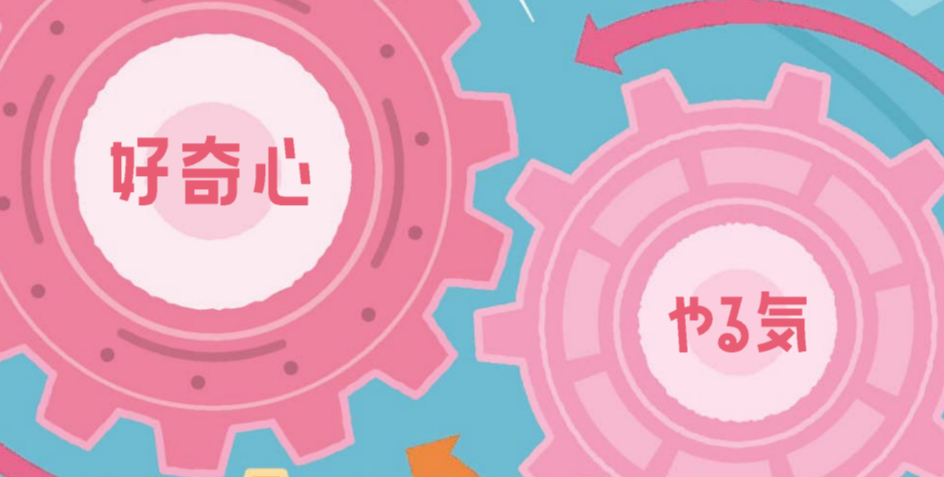
▲参加した先生方による意見交換以外に、授業をした先生の振り返りや教育研究研修センターの講師による助言もありました。

国語の公開授業を受け、同じ中学校区の先生が集まり、研究協議会が開かれました。効果的な指導方法や子どもたちへの支援などについて、校種を超えて熱心な意見交換が行われました。学校では、公開授業後には、毎回このような研究協議会を行っており、今後の授業づくりに役立てています。

好奇心を / 大きなエネルギーにつなげるために!

新しいことにチャレンジする「好奇心」をどんどん膨らませ、自分で考え行動できる力を身につけよう!

「やる気につながる好奇心」を育てるために、ICTを取り入れた授業づくりや研究会を行い、より良い教育活動を推進。体育祭などを通じた仲間づくりや国際交流等の学校行事にも力を入れています。



今回も子どもたちのたくさんの笑顔に出会えたよ! 子どもたちが夢や希望を持って成長していけるよう、これからも学校、家庭、地域社会で協働して取り組みたいね!

岡山後楽館中学校・高等学校



中・高「棒持ちリレー」



中・高「応援合戦」

生徒の声

中・高合同の体育祭は、みんなが団結してとても楽しいです。高校生の方たちが積極的に声をかけてくれたり、応援をしたりして、こちらも嬉しくなりました。たくさんの準備や練習をした応援合戦では、みんな笑顔で今までで一番の演技ができて大成功でした。

後楽館中学校 3年生 石岡 瑠乃彩さん(右) 浦山 祐美恵さん(左)

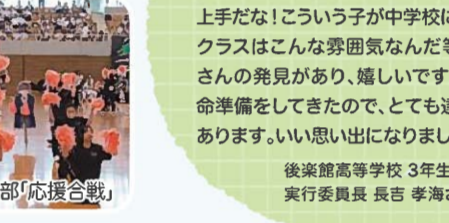
生徒の声

みんなで応援したり、盛り上げたり、中・高校生が互いに仲良くなれるのは後楽館ならではの大会です。みんな足が早い! あの子はダンスが上手だな! いろいろな子が中学校にいるんだ。このクラスはこんな雰囲気なんだ。みんなの発見があり、嬉しいです。一生懸命準備してきたので、とても達成感があります。いい思い出になりました。

後楽館高等学校 3年生 実行委員長 長吉 孝海さん



中・高「応援合戦」



中・高「応援合戦」

歓迎セレモニー



友達のかわいい姿が誇らしかったよ!

山南学園

岡山県初の義務教育学校として、令和4年に開校した、岡山市立山南学園。今年5月に、岡山市の姉妹都市である台湾の新竹市から、培英国民中学の3年生、約40名が同校を訪れました。記念式典では、代表者が、中国語と英語でウエルカムスピーチを行い、初・中等部は演奏、中・高等部は本鼓演奏を披露、両校全員で「It's a Small World」を合唱するなど、盛大なセレモニーとなりました。交流授業では、各クラス「折り紙」をしたり、6年A組では一緒に企画し、6年A組では一緒に「折り紙」をしたり、6年A組では一緒に企画し、「自己紹介と台湾のクイズ」を行うなど、みんなで楽しく

クラス交流



折り紙をみんなで作ってよ!

通常授業



一緒に授業を受けたり、給食を食べたりしたよ!

ランチタイム



一緒に授業を受けたり、給食を食べたりしたよ!

先生の声

両校で歌った「It's a small world」も朝の会で毎日歌ってました。クラス交流では、日本の文化で何が伝えやすくて交流しやすいかを子どもたちと一緒に考えて「折り紙」にしました。事前に、クラスで折り紙をやってみるには、知らない子もたくさんいたので、友達同士で教えていました。交流のための準備ではありましたが、自分たちの交流にもなりました。

山南学園 教諭 守谷 江里子さん

児童の声

授業で習った英語で実際に会話してみると、伝えるのが難しいところもありました。相手の言葉を聞くと、思った発音とは、違うところもあって、面白いなと思いました。折り紙を折るのがとても上手かったです。「ナイス!」など、声をかけました。クイズは難しかったけど、台湾は楽しそうだな、行ってみたいなと思いました。

山南学園 6年生 梅原 晴音さん

仲間づくり

学年を超えた結束、中・高等学校の合同体育祭



台湾の「培英国民中学」と国際交流会

みんなで何かを達成できると、友達との関係も深まって、楽しい時間も増えるよ。お互いの気持ちも理解できるから、仲間との時間はすごく大切なんだ。

